

更新日 : 2021.08.10 ファームウェア2.22

Trimble GFX-750 PIQ設定

「アプリケーションコントロール」

PIQ設定画面



をタップする

農作業機の設定

新しい農作業機の自動選択



- ONの場合
新規作成した農作業機データを自動的に選択

※初期設定は「ON」
基本的に「ON」の状態で使用

- OFFの場合
手動で新規作成農作業機データを選択

受信可能域マッピング 資材に対して流量テーマを調整



- ONの場合
実行画面のレイヤーを目標レートにしたとき、
資材の最大レートに合わせて範囲設定が
自動変更される

※初期設定は「ON」
基本的に「ON」の状態で使用

0.0 - 91.7
91.7 - 183.3
183.3 - 275.0
275.0 - 366.7
366.7 - 458.3
458.3 - 550.0
550.0 - 641.7
641.7 - 733.3
733.3 - 825.0
825.0 - 916.7
916.7 - 1008.3
1008.3 - 1100.0

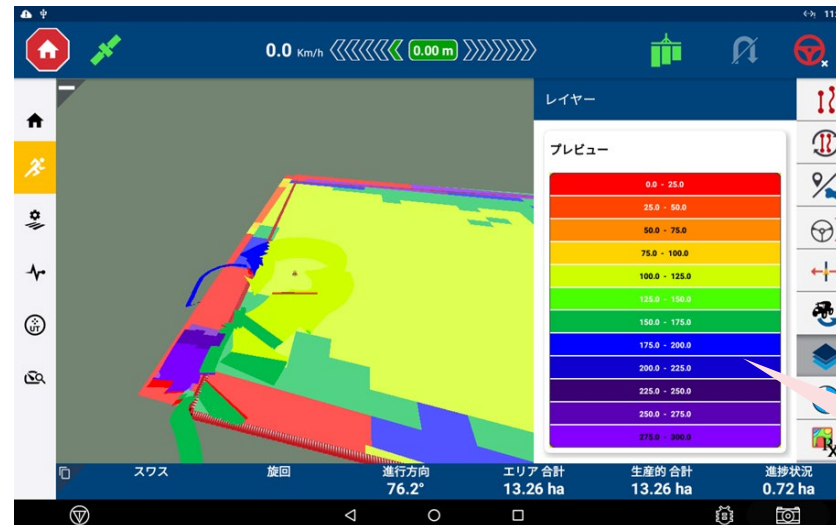
- OFFの場合
資材の最大レートを変更しても直近で
使用したレイヤー範囲で表示される

受信可能域マッピング

プレスクリプションマップに関して施用流量テーマを調整



- ONの場合
プレスクリプションマップ設定値に対して自動で目標レートが自動でスケールリングされる
※初期設定は「ON」
基本的に「ON」の状態で使用
- OFFの場合
自動調整機能が無効となる



スケール（上下限）が自動設定される

プレスクリプション

プレスクリプションの使用を自動的に有効にする

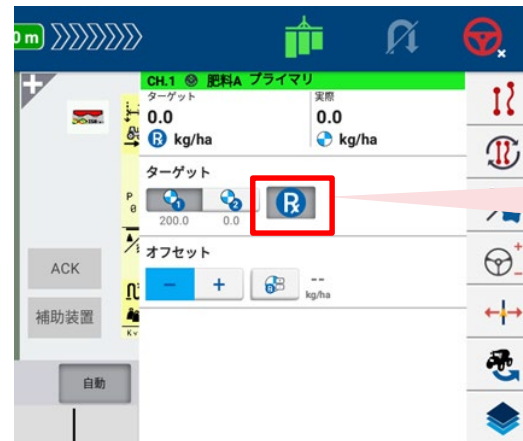


- ONの場合
プレスクリプションの使用を自動的に有効にする。
有効にすると、システムはターゲットレートを自動的に設定する

※初期設定は「ON」

基本的に「ON」の状態で使用

- OFFの場合
手動で「RX」レートアイコンで設定を行う必要があり、この場合「RX」をタップして有効化が必要



OFFの場合
タップ必要

マニュアル境界線コントロール

マニュアル手動境界線インクリメントを有効にする



機能概要

セクションコントロール時（自動orマニュアル両方）にセクションコントロール操作画面下部の左右矢印でセクションのON/OFFを手動で切り替えができ、その際のON/OFFセクション幅を設定できる

境界線近辺等での任意的な散布や各セクション幅が均一でない場合に利用すると有効

※初期設定は「ON」
基本的に「ON」の状態で使用

マニュアル境界線コントロール

マニュアル手動境界線インクリメントを有効にする

- ONの場合
作業機で設定してあるセクション幅（数）
で左右ボタンでON/OFFができる



タップ

タップした分で増加減

- OFFの場合
任意の幅を入力し、そのセクション幅で
ON/OFFの操作が可能になる



OFF時に仮に10mと入力した場合、
1タップで10m増減する

セクションコントロール オンオフ遅延に負の値を許可する



- ・ ONの場合
「ON」にすると遅延設定でマイナスの数値が設定可能となる

- ・ OFFの場合
プラスの数値のみ設定可能

※初期設定は「OFF」
基本的に「OFF」の状態で使用

資材レート

資材レートを記録する



- ONの場合
同じタスクを呼び出したときに材料の目標レートを増減していたらその値が保存される

※初期設定は「ON」
基本的に「ON」の状態で使用

- OFFの場合
保存機能が無効となる